

くまむら議会だより

# 元気!

さらなる復旧・復興

一勝地駅から望む  
球磨川

もくじ

6月定例会	2
第5回臨時会	4
一般質問	5
編集後記	12



110号

2023.8.25

# 6月定例会

6月定例会は、6月12日から16日までの5日間で開催され、承認6件、報告4件、議案13件、同意8件が上程され、農業委員会委員任命の同意については、同意6件、不同意1件となり、その他の議案は、原案のとおり可決しました。

一般質問では7人が登壇し、復旧復興や各種施策について、執行部の考えを質問しました。

## 6月定例会

- 開会 令和5年6月12日
- 閉会 令和5年6月16日
- 会期 5日

審議の主なものについては次の通りです。

(審議の結果は3頁に掲載)

### 【条例の制定】

○球磨村災害危険区域に関する条例の制定について

建築基準法第39条の規定に基づき河川の出水による危険の著しい区域を災害危険区域として指定し、建築物の建築に対し制限を設けるため、条例の全部を改正しました。

### 【契約】

○工事請負契約の変更について

渡小学校解体工事の請負金額を1,219万8,373円増額し、1億954万8,373円に変更

するもので、原案のとおり可決しました。

### 【財産】

①財産の処分について(村有林の法正林化)

②財産の取得予定価格の変更について(球磨村渡災害公営住宅)

渡地区災害公営住宅の取得予定金額を3,622万1,777円増額し、14億8,733万447円に変更するもので、原案のとおり可決しました。

③財産の取得予定価格の変更について(球磨村一勝地災害公営住宅)

一勝地地区災害公営住宅の取得予定金額を772万2,000円増額し、3億1,648万円に変更するもので、原案のとおり可決しました。

### 【予算】

○令和5年度球磨村一般会計補正予算について

今回の一般会計補正予算の歳出の主なものは次の通りです。

○新型コロナウイルス感染症対応地方創生事業費で、油価格高騰の影響を受けているLPガス使用世帯への支援として、LPガス協会を通じて、1世帯あたり6千円を支給。

○加えて、物価高騰の負担感が大きい低所得者世帯の負担を軽減するために、令和5年度の非課税世帯に対し、1世帯当たり3万円の給付金を支給。

○企画費においては、昨年と同様にくまむら復興祭を10月22日に開催することとしたので、関連予算を計上。

○災害対策費においては、渡小学校と千寿園跡地の全体的な整備を検討するために国庫補助金を活用し、渡小学校・千寿園跡地整備基本計画策定業務委託料を計上。

○また、農業振興費では、4月に設立した農事組合法人が事業実施のために必要となる施設の整備に対して補助金を交付。

○学校管理費では、スクールバス

送迎時に児童生徒の降ろし忘れを予防するため、県の補助を活用し安全装置の整備費を計上。

### 【人事】

①球磨村固定資産評価員の選任意について

4月1日の人事異動に伴い、税務住民課長に任命された蔵谷健氏が、新たに選任同意されました。

②球磨村農業委員会委員任命の同意について

令和5年7月19日に任期満了となる球磨村農業委員会委員に次の6名の方が同意されました。

球磨村農業委員

松野 三千夫氏(第6分館)

椎屋 智司氏(第2分館)

大無田 満浩氏(第5分館)

高沢 正浩氏(第3分館)

友夙 辰生氏(第4分館)

内布 敬正氏(第1分館)

## 6月定例会 審議した議案等とその結果

議案番号	件名	結果	賛成	反対
承認第2号	専決処分の報告及び承認について（球磨村税条例の一部を改正する条例）	原案承認	9	0
承認第3号	専決処分の報告及び承認について（球磨村国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	原案承認	9	0
承認第4号	専決処分の報告及び承認について（令和4年度球磨村一般会計補正予算）	原案承認	9	0
承認第5号	専決処分の報告及び承認について（令和4年度球磨村国民健康保険特別会計補正予算）	原案承認	9	0
承認第6号	専決処分の報告及び承認について（令和4年度球磨村介護保険特別会計補正予算）	原案承認	9	0
承認第7号	専決処分の報告及び承認について（令和5年度球磨村一般会計補正予算）	原案承認	9	0
報告第1号	専決処分の報告について（和解及び損害賠償額の決定）	報告	9	0
報告第2号	令和4年度球磨村一般会計予算繰越明許費繰越計算書について	報告	9	0
報告第3号	令和4年度球磨村一般会計予算事故繰越し繰越計算書について	報告	9	0
報告第4号	令和4年度球磨村簡易水道特別会計予算繰越明許費繰越計算書について	報告	9	0
議案第34号	工事請負契約の変更について	原案可決	9	0
議案第35号	財産の処分について（村有林の法正林化）	原案可決	9	0
議案第36号	財産の取得予定価格の変更について（球磨村渡災害公営住宅）	原案可決	9	0
議案第37号	財産の取得予定価格の変更について（球磨村一勝地災害公営住宅）	原案可決	9	0
議案第38号	球磨村災害危険区域に関する条例の制定について	原案可決	9	0
議案第39号	球磨村一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	9	0
議案第40号	球磨村重度心身障害者医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	9	0
議案第41号	一勝地交流センター「かわせみ」の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	9	0
議案第42号	令和5年度球磨村一般会計補正予算について	原案可決	9	0
議案第43号	令和5年度球磨村国民健康保険特別会計補正予算について	原案可決	9	0
議案第44号	令和5年度球磨村後期高齢者医療特別会計補正予算について	原案可決	9	0
議案第45号	令和5年度球磨村簡易水道特別会計補正予算について	原案可決	9	0
同意第2号	球磨村固定資産評価員の選任同意について	原案同意	9	0
同意第3号	球磨村農業委員会委員任命の同意について	原案同意	9	0
同意第4号	球磨村農業委員会委員任命の同意について	原案同意	9	0
同意第5号	球磨村農業委員会委員任命の同意について	原案同意	9	0
同意第6号	球磨村農業委員会委員任命の同意について	原案同意	9	0
同意第7号	球磨村農業委員会委員任命の同意について	原案同意	9	0
同意第8号	球磨村農業委員会委員任命の同意について	原案同意	9	0
同意第9号	球磨村農業委員会委員任命の同意について	原案不同意	0	9
追加日程				
議案第46号	令和5年度球磨村一般会計補正予算について	原案可決	9	0

（採決の人数は、議長を除く9名）

# 第5回 臨時会 開催

第5回臨時会が6月27日に開催され、報告1件、工事請負契約の承認1件、一般会計補正予算が上程されました。

## 一般会計補正予算を否決

### 【予算】

○令和5年度球磨村一般会計補正予算について

一般補正予算の歳出に、義務教育学校一体型校舎を渡地区のさくらドーム周辺に建設することに伴う、さくらドーム解体工事設計業務委託料と義務教育学校建設設計業務委託料、合計9,632万8,000円を計上。

提案理由では、「令和2年7月豪雨で渡小学校が被災しましたが、再び同規模あるいはそれ以上の災害が発生した場合でも被災しない安全な場所としてさくらドーム周辺を選びました。子ども達の命を守る場所として最も安全な場所であり、早期に学校再建できる場所であることを最優先に決定しました。」との説明が述べられました。

その後の審議では、「住民アンケートの結果では6割強が一勝地と回答しているのに、その民意を無視して渡に建設するのは賛成できない。」

「一勝地におけるの安心安全な教育環境、通学路の対策等について何も講ずることも議論もなく、渡に建設することには賛成できない。」

「さくらドームの解体においては、残すべきだという村民の声、民意があり解体費用を否決した経緯がある。さくらドーム解体につながる費用は村民の声に反することに賛成できない。」

と言った反対意見があり、起立採決の結果、賛成1反対8で否決されました

### 【報告】

①専決処分の報告について  
(和解及び損害賠償額の決定)

### 【契約】

①工事請負契約の締結について  
林道大槻大岩線道路災害復旧工事について、契約金額6,050万円での請負契約締結を原案のとおり可決。

## 球磨川改修事業 対策特別委員会

令和5年4月17日と4月28日に球磨川改修事業対策特別委員会（委員長…嶽本孝司）が開催されました。「村内かさ上げ事業について」を議題として建設課より進捗状況等について説明を受け、5月17日には現地視察も行いました。

今後も、進捗状況を注視し、委員会を継続していくこととしています。



渡峯地区



神瀬地区

## 豪雨災害復旧・復興 対策特別委員会

令和5年6月27日、第5回臨時会終了後、豪雨災害復旧・復興対策特別委員会（委員長…高澤康成）が開催されました。

執行部と一緒に、一勝地災害公営住宅、渡災害公営住宅、特別養護老人ホーム千寿園の現地視察を行い、復旧復興の状況確認を確認しました。



渡災害公営住宅



千寿園現場

## 15日間の村民座談会を通じた 村長の所感

田代 利一 議員



**答**

村内全域を対象に行い、各地域の課題や、生活に直結するような内容など、多くの意見を聞くことができた有意義なものであった

**問**

出席者308名の内、若い人、保護者の方々が少なかったがどう思うか。

**村長**

当初、ホームページと広報誌で周知をし、途中から防災無線にて参加の呼びかけをしたが、参加者が少なく、特に若い世代の方々の参加者が少なかったと思う。今後、何らかの手を考えなければならぬと思っている。

**問**

復興については、どのような意見、要望があったのか、また、その後の住民に対してはどのような対応策をされたのか。

**総務課長**

渡小学校、千寿園の跡地の活用、遊水池の対象地区の再建、沖鶴橋の工事計画等や、営農振興エリアはどうなっているのかという意見があった。また、子育て

では出ているが、意見等しっかり精査した上で、最終的には責任をもって決めて、皆さんへ報告、協議をしていきたいと思っている。

**問**

A案なら若い世代の転入が見込まれるといわれるが、保護者アンケートでは分離型が多く、既存の学校施設を利用して、分離型の義務教育学校で良いと思うが、村長の考えは。

**村長**

A案が安易に人吉市に近いからというわけでなく、これからのまちづくりを考えたときに、安心安全というのが、最優先と考えられるし、今後の住宅政策とか、安全が第一だと思う。

**問**

今後のまちづくりの方向性について、球磨村の人口ビジョン推移は。

**復興推進課長**

最新の情報は令和2年3月に推計した時点で、2015年の総人口が3,698人だったが、それから年間300人、400人、500人と減っていく予想と

なっており、2055年には989人、2065年には705人と予想されている。

**問**

満室にならない災害公営住宅について、その対策は。

**副村長**

今のところ9割強の申込者が決まっており、被災者の方の要望など聞きながら公営住宅をお勧めしている状況である。今、第2回目の募集をかけているが、第3回目の公募は、球磨村住民を優先とした一般の方、村外から被害者を含め一般の方の募集も検討している。



解体が進む渡小学校、千樹園の跡地

塚ノ丸団地造成工事は令和5年度中の  
供用開始に遅れはないか 西林 尚賜 議員



**答** 発注工事の不調、不落があるものの、  
県と連携して早期の整備に全力で取り組む

**問** 「くらし」被災者の生活再建  
の状況について、災害公営住

宅の応募状況等、工事の進捗、入  
居予定の時期は。

**村長** 災害公営住宅の応募状況等  
は、第1次募集、第2次募集

を行い、一勝地は募集戸数8戸の  
うち5戸、渡は募集戸数60戸の  
うち56戸の入居世帯が決定した。

建設状況は、資材調達の遅れか  
ら工期の変更を行い、現在、入居  
開始に向けた工事が進捗している。  
入居の時期は、一勝地が7月上旬  
に鍵渡し、渡は7月上旬に入居説  
明会、9月上旬に鍵渡しの予定で  
ある。

**問** 災害公営住宅の入居世帯が  
決定したが、今後、空き室の

入居募集についての考えは。

**総務課長** 入居募集は、これまで被災者  
の方を優先的に募集してき

たが、すべてが埋まる状況ではな  
い。今後、早い時期にまずは、被  
災者の方の募集受け付けを念頭に、  
一般の方村内外問わず、入居募集  
を考えている。



完成が近い「エスペランサ桜峯」

**問** 山口住居エリア塚ノ丸団地  
の応募状況、並びに県代行工

事の発注状況と進捗状況は。

**村長** 塚ノ丸団地の応募状況は、  
第1次募集、第2次募集を

行い、40区画のうち28区画が決定  
している。整備状況は、県の代行  
工事として、現在、村道内布線か  
らのアクセス道路と宅地造成27区  
画分の工事が進んでいる。一方で、  
雨水調整池の工事は、工事入札の  
不調、不落が続いていたが、発注  
方法の見直しにより、順調にいけ  
ば7月に契約予定と聞いている。

**問** 一部の工事において、工事入  
札の不調不落が続いている

が、令和5年度中の供用開始への  
影響は。

**村長** 県の代行業業では、引き続  
き、被災者の方の一日でも

早い住まいの再建に向け、全力で  
取り組んでもらっている。村とし  
ても令和5年度中の完了に向け、  
県と連携し、早期整備に取り組ん  
でいく。

**建設課長** 県とは、定期的な協議を行っ  
ており、報告では、来年3

月までに完了させたいと、強く望  
まれている。村としても宅地造成  
1期27区画分の進捗状況と調整池

整備の工事が応札される情報もあ  
り、県と連携しながら、全体工事  
の進捗に期待している。

**問** 神瀬地域の小規模改良住宅  
の応募状況、並びに今後のス  
ケジュールは。

**村長** 意向調査の結果により、希  
望があった7戸分を整備す

る。神瀬地区のかさ上げ事業の進  
捗により、建設開始予定である。

**建設課長** 今後のスケジュールは、宅  
地造成と神瀬大岩線からの

アクセス避難路を工事契約してお  
り、その後、2工区、3工区の避  
難路を整備し、避難地の工事を発  
注予定、防災拠点施設は、6月に  
入札予定である。

**問** 村内において、有害鳥獣によ  
る農業被害が年々深刻化し

ている。新たな有効的な取り組みは。  
現在、試験的にシカ用の大型

**産業振興課長** 現在の困り民による一斉駆除を一  
勝地地域で試みている。今年度は、

国の補助を利用して村内で被害が多  
いサル対策用の誘導捕獲罠による一  
斉駆除を渡地域で検討している。



中体連で活躍する球磨中生

「今年度、そして、これから」と示された令和5年度  
施政方針にける村長の思いは

東 純一 議員



**答**

今、その場しのぎの事をやっつけても、将来の復興はない。10年後、20年後、さらにはその先を見据え、今がその取組みをする時である

**問**

中学校の部活動において、来年度から休日の部活動の地域移行が始まるようである。3年間の改革推進期間も定めてあるようであるが、球磨村の対応、課題は。

**教育長**

中学校部活動の休日移行については、国が令和5年度から3年間を部活動改革推進期間としており、令和7年度末をめぐりに休日の運動部活動から段階的に地域に移行していく方針。本村においては、地域部活動検討委員会を設置し、本年度中に休日の部活動の地域移行や外部指導者の確保そして導入、部活動数の適正化を含め、来年から義務教育学校になるので、部活動の運営と社会体育との連携等、課題を検討していく。

**問**

指導者にしても、場所によってはいけないと思う。指導者に対しての謝金も発生してくる。部活動に対しての指導者に対する謝金とか部費も部員数によっての差は

**教育課長**

ない方がいいが、補助とか支援、何らかの対応は考えられないか。

今後、部員の減少というところと、いろいろ鑑みますと、やっぱり活動費が足りなくなる場合もあるかもしれない。部によって状況が違うので、保護者とともにいろいろ検討していく必要があると思う。部活動の編成あたりも今後視野に入れていく必要があると考えている。

**問**

球磨村は、急激な人口減少が続いている。対応策も急務だと感じる。これからも球磨村に住みたい、村で働きたい、そのような思いが持てるか持てないか。特に、若い世代や中高生の皆さんが、行政や地域に対し、自己効力感の醸成が図れるか大切ではないかと思う。行政が計画をし、動きを求めるのではなく、中学生、若い世

**村長**

代からの提案型による取組、村づくりも必要ではないかと思う。

村の将来を担っていく若い人の転出が増えており、地域活動にも大きく影響しており、若い世代が集える環境づくりは非常に大事なことで常々考えている。行政と地域が協働して若者が将来に向かって希望の持てる、魅力ある住みやすい村づくりを進めるため、皆様のお力添えをいただきながらしっかりと取組んでいく。

**問**

共助のむらづくり助成金の対象見直し、復興に寄与する取組み、対象の見直しや、どのような取組みを考えているか。

**村長**

共助のむらづくり事業については、従来の地域の清掃活動などの補助の限度額をちょっと下げて、地域を盛り上げるような活動や活性化に向けた補助金を見直していきたい。

今年度は「目指すべき村の将来像」の目標実現、将来を見据えた施策が策定される重要な年となるが 永椎樹一郎 議員



**答**

従来の課題に引き続き取組み、新たな取組み、財政状況を見極め、優先順位を考慮し、事業展開を図っていく

**問**

木造住宅建設支援補助金を創設されたが、内容や村内外への発信、見せ方が重要である。それが移住・定住、人口減少につながる施策と思うが。

**村長**

見せ方、発信の仕方が重要である。村内外の皆さん知ってもらうことが大切、しっかりと取組んでいきたい。

**問**

今後も定住促進、例えば「定住支援金制度」の創設など、移住・定住につながる補助制度も考えていかなければならないと思うが。

**村長**

現在、移住・定住につながる補助制度はないが、子育て世帯への補助など一緒に考えていきたい。財政に応じた支援をしっかりと考え、移住・定住につながればと思う。

**問**

生産年齢人口、労働力人口の減少、「田舎暮らし」にあげられる若者、地域おこし協力隊の活用で、移住・定住につながる考えは。

**村長**

地域おこし協力隊の活用は、常に考えている。ただ、採

**問**

「人口減少」をいかに緩やかにすることが重要である。球磨村での子育て他町村との差別化を図らなければならない。次の世代も球磨村で子育てを行うというような「循環型子育て支援」の考えは。

**問**

観光振興の方向性を導いていくことが役割であると思う。観光産業事業者の点を線で結んで、その線を球磨村という面で見せるような観光振興、観光産業のあり方が必要と考えるが。

**村長**

まさに循環型、一旦外に出て生活する。今は、なかなかそのような状況ではないが、将来的には球磨村が「魅力のある村」になることがすべてであると思う。

**村長**

専門的な立場の職員もいるが、行政とは違う考えのもと、いろいろな意見をもっている。今後は何よりそういう考え、意見が必要である。しっかりと考えていく。

**問**

観光振興の中心的な役割は、「行政」なのか「観光協会」なのか、あり方、役割の明確化は。

**村長**

現在は、復興推進課の中で観光振興を中心的に行っている。将来的には、観光振興を行う事業者が中心となり、行政は観

**問**

土砂災害と森林整備の関連は大変懸念される。森林環境譲与税を活用し、健全な森林環境、森林整備を行う考えは。

**村長**

懸念される災害と森林との関係、森林環境譲与税を活用し、しっかりと森林整備等を行っていかねばならないと考えている。



入居が始まった「ルミエール永崎」

## 村政座談会の目的は

板崎 壽一 議員



**答** 復旧、復興が進む中、今後の村の発展、振興のために、住民の皆様のご意見をいただきたいのが最大の目的である

**問** 村内11会場で15回開催された村政座談会の目的は。

**村長** 球磨村の発展、振興、そして住民の皆様の貴重なご意見をいただくため、村長に就任後、初めて開催した。多くの参加をいただきたく、広報誌、ホームページに掲載して、また、防災無線での呼びかけを行った。この機会を活用し、学校再建、義務教育学校の施設一体型校舎の建設について説明をし、併せてアンケートを行い、復興まちづくり計画の進捗状況を説明した。

**問** 15日間、11会場での村政座談会の内容は、復興まちづくり計画の説明と、義務教育学校の施設一体型校舎の建設と場所と、アンケートが主で、村の発展、振興のために、住民が質問、意見を

言える話題、場面がなかったように思われた。参加者、アンケートの回答者が少なく、特に、子育て世代の参加者が少なく、そんな中、村の発展、振興のための住民の意見は聞けたのか。

**村長** 残念ながら子育て世代の参加者が少なかったが、後日、座談会の資料を同封し、欠席された世帯と児童生徒のいる保護者に個別にアンケートを取らせてもらった。

**村長** 郵送料をかけたアンケートや座談会の本当の目的は学校再建だったのか。

**村長** 学校再建の説明、それに伴うアンケートも一つの目的であり、復旧、復興が進む中、今後の村の発展、振興のために、住民の皆様の貴重なご意見をいただきたいのが最大の目的である。復興

の説明ができていない地域の方々に、しっかりと説明をした上で多くの意見をいただいたので、今後の村政運営に生かしていきたい。

**問** 座談会の参加者、アンケートの回答が少なかったから、再度アンケートを取ったのか。

**教育長** 子育て世代の方々の参加が非常に少なく、今後、当事者になられる方々のご意見を把握したうえで、義務教育学校の施設一体型校舎の建設と場所についてアンケートを取らせてもらった。

**村長** 建設場所については、一勝地、渡という言葉はできるかも知れないが、全て村民の意見に従うことなく、村の将来に関しては、全てを村民に任せるようなことではいけないと思うので、今回のアンケートの結果を踏まえ、内容を見て精査したうえで、場所等については、議会と協議したいと考えている。

**問** 復興まちづくり計画の説明の中で、渡小学校、千寿園の跡地が、運動公園、遊具広場、慰霊公園として活用となっているが、

小学校跡地をテナント式の道の駅「わたり」など、千寿園の跡地を宅地にして、分譲住宅とし、移住定住に役立つ活用はないのか。

**復興推進課長** 復興まちづくり計画に基づいて説明をし、村民が集まれる場所として、再整備ということで補正予算を計上している。

**問** 村政座談会の成果は。

**村長** これまで復旧、復興を中心に村政を進めてきたけど、それ以外の地域の困りごとなど多くの意見を聞くことができたことが、本当に成果が多い村政座談会であった。

初めて開催された村政座談会



初めて開催された村政座談会

JR肥薩線の復旧は

宮本 宣彦 議員



**答** 球磨村のみならず熊本県や沿線市町村も 鉄道の復旧を切望

**問** 高齢者や高校生等、地域での生活に欠かせない交通手段であり、特に球磨村にとっては観光の推進に必要不可欠であるが。

**村長** 地域住民の生活交通路線であるとともに、地域を結び経済・観光面において重要な路線である肥薩線の鉄道での復旧に向けて、県及び地元市町村と連携して前向きに取り組んでいく。



復旧が待たれるJR肥薩線

**問** JR肥薩線再生協議会での協議状況は。

**村長** 令和4年4月に県と地元市町村で構成するJR肥薩線再生協議会が立ち上げられ、復旧に向けた方策の検討や持続可能な運行の確保に向けた今後の利活用促進策等について協議している。

**問** 国の財政支援を可能な限り受けて、鉄道での復旧を目指す方針を確認されていると聞いているが。

**村長** 国・県・JR九州で行なわれている検討会について、その内容の報告を受けているところである。

**問** 鉄道で復旧したが、利用が少なくなったではないか。どのような発展策があるのか、その考えは。

**村長** 例えば、球磨村においては、ラフティングと連携し球磨川を下る方々が一勝地駅から渡駅まで肥薩線を利用してもらうとか意見が出されている。また、関係する自治体から、独自の補助ができないかなどの意見が出されている。

**問** 一勝地温泉かわせみの状況は。

**村長** 令和3年4月から温泉部門のみの村直営の営業だが、村の観光の主要施設であり他の観光施設への影響も大きいことから、令和4年度に指定管理の手續きを進め、株式会社トラックスセッションを指定管理者にした。

今後、これまでの村民の福利施設の機能を維持しつつ、新たな付加価値を造成し、周辺環境の魅力で活性化させ、売上げ拡大を図る。

**問** 株式会社トラックスセッションの経営は。

**村長** 経営方針としては、球磨村の新たな魅力を創出する提案を常に行なう。時代のニーズやトレンドに対応した企業活動を行ない、村との連携を図り、村全体

へ経済効果を波及させることを考えている。

**問** 7月にリニューアルオープン見込みの施設の運営状況は。

**村長** 市場における製品の生産状況や新型コロナウイルス感染症の5類移行により、飲食店等の営業再開のための改修工事が増加したことが影響し、8月中の竣工予定である。7月のリニューアルオープンを目指して準備をしていたが、秋の旅行シーズンを見据え9月16日オープンを目指したい。

**問** トラックスセッションの対応・体制づくりの現状は。

**村長** 提供する料理は、球磨村の山と球磨川の食材を生かして地産地消を前提に食材を集め、積極的に村の特産物を活用し気楽に食事をしてもらえるようにする。しかしながら、料理人の確保に苦慮されている状況である。料理人の採用と併せて、メニュー開発やそのレシピづくりができる人材を探している状況であり、村としても調理やメニュー開発を行なえる地域おこし協力隊員を募集したい。



宅地造成が進む塚ノ丸団地

## 宅地造成に係る村道内布線の道路かさ上げは、必要ではないか

嶽本 孝司 議員



**答** 現在、水害復興のかさ上げ対象外である  
今後、必要に応じて考えていく

**問** 塚ノ丸団地造成に伴う調整池の必要性と新たな活用方法は。

**副村長** 塚ノ丸団地の造成は、約1万㎡の面積になり、県に対して都市計画法の許可が必要である。また、新設される調整池は、あら

ゆる条件、規制により計画されたものであり、工事の進捗のため、あるいは農業用といった別の用途に用いるために、形状等を変更することはできない。

**問** 調整池から流れる水は、馬水川へ排出されるとのこと、

災害発生時を含め、これまで何回も水害の被害を受けた村道内布線のかさ上げは、必要ではないか。

**村長** 国、県による、かさ上げ対象地域に指定されていない。現状では、ハード面の整備にはどうしても時間を要するため、しばらくの間は、ソフト面での対応として、しっかりと早めの避難を促していく対応が重要であると考えている。

ハード面の整備については、今後、考える時期がくれば、必要に応じて、しっかりと考えていく。

**問** 多目的広場へ建設中の千寿園について、グラウンド仮設団地側から中央階段の通行ができないが、調整池横の土手を通行されている。この責任の所在はどこか。

**村長** 村としては、中央階段の通行を禁止しているが、道路沿いの柵を乗り越えないよう看板を設置している。柵を乗り越え、土手を通らないようお願いしたい。責任の所在は、看板を設置しているのが個人の責任と考える。

**問** 個人の責任じゃないと思う。村の土地で樹木の管理をされている。千寿園の建設終了後は、中央階段の通行はできるのか。

**村長** 通行できるようにしたいと考えている。

**問** 村政座談会で出ていた学校関係について、令和2年7月災害以降、離村した児童生徒数は。

**課長 教育** 令和2年度13名、令和3年度14名、令和4年度14名の計51名の児童、生徒が離村した。

**問** 令和11年度までの児童、生徒数の推移は。

**課長 教育** 児童、生徒数の推移は、令和5年度167名、令和6年度159名、令和7年度152名、令和8年度138名、令和9年度128名、令和10年度119名、令和11年度112名の見込み数となる。

**問** 義務教育学校が開校するが、数年後には複式学級が発生するのでは。

**課長 教育** 例えば、2年生、3年生の合計児童数が16名以下になると複式学級となる。

このまま推移すると、令和11年度に複式学級になる見込みである。

# くまっこ 最後の渡小学校 6年生



## 6年 舟戸 延蔵さん

僕たちの学級は、個性豊かでもとてもにぎやかです。笑わせる人、笑う人がいて、朝の時間や昼休みも、楽しく笑顔で過ごすことができます。そしてみんな仲がいいです。授業中には、勝手に話す人もたまにいますが、真剣に取り組む人が多く、楽しい学校生活を送ることができています。もうすぐ夏休みなので、行事やテスト、学習のまとめなどを頑張っています。

6年生の学級目標、毎月の生活目標、毎日のめあて、人権宣言などを意識して守っています。また、6年生のいいところ「仲がいい」「給食をいっぱい食べる」などを増やしていきます。そして、渡小学校最後の卒業生として胸をはって卒業できるよう頑張っていきたいです。

## 6学年担任 内古閑 諒大 教諭

本年度の渡小学校の6年生は、男子4名、女子5名の計9名です。人数は少ないですが、みんな友達思いで、優しい気持ちを持っている子どもたちです。1年生のお世話やお手伝いを進んで行き、1年生の担任の先生からも「頼もしい子どもたちです。」とよく褒めていただいています。

授業中には、様々な学習課題に対して何とかやり遂げようと一生懸命に取り組む姿を見せてくれます。運動会などの学校行事でも、リーダーシップを発揮し、渡小学校のみんなを引っ張ってくれました。

今、担任をさせていただいている子どもたちは、渡小学校最後の卒業生になります。これまでの先輩方が築いてこられた伝統を守り、ますます素敵な渡小学校になるよう2学期、3学期にも様々な学習活動に取り組んでいく予定です。卒業の日を迎えるその日まで、子どもたちの成長が見続けられることが楽しみです。

## 編集後記

南阿蘇鉄道が7月15日、熊本地震から7年と3カ月を経て全線開通した。特に南阿蘇地域の方々にとっては、待ちに待った復興であろう。

高森駅から立野駅まで繋がりが、更にJR豊肥本線・肥後大津駅までの乗り入れも設定されたことで、地元の方々の交通手段が確保され、南阿蘇地域の観光振興に繋がることが大いに期待されます。

一方、球磨地域の令和2年7月豪雨で被災したくま川鉄道は、令和7年中に全線開通する見通しとなりました。南阿蘇鉄道と同様に、上下分離方式を導入し復旧することとなったようで、1日でも早い開通を望みます。

そして、JR肥薩線の復旧は？鉄道での復旧に向けた検討がなされていますが、復旧費用や維持経費の問題、経営方針など多くの課題を抱え前途多難な状況にあります。地元にとっては、より早い復旧が進み、村民の交通手段が確保されて、被災前のように観光列車の走る景色が見られることを切望しています。

宮本 宣彦

## 議会広報特別委員会

- |      |        |
|------|--------|
| 委員長  | 板崎 壽一  |
| 副委員長 | 西林 尚賜  |
| 委員   | 宮本 宣彦  |
| 委員   | 永椎 樹一郎 |

■球磨村世帯数:1,236世帯 ■人口:2,843人 男:1,368人 女:1,475人(令和5年8月1日現在)